

全国救護施設協議会 組織概要

設立年月	昭和36(1961)年10月
目的	救護施設相互の連絡調整をはかり、その健全なる育成と発展を期することを目的とする。 制度や施策の充実改善に向けた調査研究、利用者へのサービスの質の向上や施設職員の資質向上のための研修事業、会員施設に対する制度施策情報提供および、相互の情報交換などの事業を行っている。
会長	大西 豊美(大阪府・みなと寮理事長)
全社協における組織の位置づけ	社会福祉法人全国社会福祉協議会の内部組織である「全国厚生事業団体連絡協議会」に属する組織。
構成員	本会の構成員は7つの地区(ブロック)協議会に属する救護施設。地区協議会ではそれぞれ独自の活動を行っている。
会員数(平成25年4月1日現在)	186施設
役員、職員数(平成25年4月1日現在)	会長1名、副会長4名、理事17名(会長・副会長含む) 監事2名、職員1名
会員施設の種類の	救護施設
歴代会長	昭和36(1961)年度～鶴目栄八 昭和52(1977)年度～小林亀松 平成元(1989)年度～吉村鞆生 平成5(1993)年度～田中亮治 平成17(2005)年度～森好明 平成24(2012)年度～大西豊美(現在に至る)
設立に関する主な経緯	本会は昭和36(1961)年10月に、東京で開催された全国社会福祉大会を機に開かれた結成総会において、会員93施設の「全国救護施設連絡協議会」としてスタートする。 昭和42(1967)年には全国を7つに分けた地区協議会が結成され、地区協議会との連携で活動の広がりが出てきたことを受けて、昭和44(1969)年に「全国救護施設協議会」に改称する。 昭和51(1976)年からは、その時々々の制度・政策課題をはじめ、救護施設の機能強化、サービス内容の向上、職員の資質向上等について幅広く研究協議を行う場として、全国救護施設研究協議大会を開催している。
組織概要	本会は、全会員施設が参加する「総会」、各地区協議会より推薦された理事による「理事会」を運営機関とし、各地区協議会との緊密な連携のもと、組織の運営にあたっている。
平成25年度事業の重点	1.「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」を推進すること 2.「救護施設の機能強化に向けての指針」を踏まえた機能強化を推進すること 3.利用者主体の個別支援を推進すること 4.利用者の人権を尊重した支援を推進すること
事務局所在地等	〒100-8980東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル4階 社会福祉法人全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部 TEL03-3581-6502 FAX03-3581-2428